

令和7年度 第3回 広沢小 学校運営協議会

令和7年10月23日(木)
13:00～15:00
開放教室

開会 開催要件(委員の過半数の出席)確認 <司会:鈴木、記録:中村>

1 校長挨拶

2 議長の選出

3 前回会議録確認

4 熟議 <議長:平野委員>

(1) 個別最適な学び、協働的な学びと子供に付けたい力について

(2) 大規模改修に伴う教育活動について

5 報告 <司会:鈴木、記録:中村>

(1) 全国学力学習状況調査の結果について

(2) 学校支援コーディネーターから

(3) 次回協議会内容

・学校運営協議会の自己評価について

6 連絡事項

・ 次回 令和8年2月17日(火) 13:30～15:00

閉会

(メモ)

第3回 学校運営協議会出席者

学校運営協議会委員

| | |
|-----|----------------------------------|
| 副会長 | ひらの けいご 平野 圭吾 |
| 委員 | やまだ たにかず 山田 谷一 |
| 委員 | かわかみ れいこ 川上 玲子 |
| 委員 | はしもと のりゆき 橋本 憲幸 |
| 委員 | みやもと よしこ 宮本 慶子 |
| 委員 | はしもと かずよ 橋本 かずよ |
| 委員 | ささき ともなり 佐々木 知成 |
| 委員 | かとう いずみ 加藤 いずみ (学校支援コーディネーター) |

| | |
|------------------|-----------------|
| 学校支援 コーディネーター | やの たかえ 矢野 貴恵 |
|------------------|-----------------|

オブザーバー

| | |
|----------|-------|
| 西部協働センター | 横市 佳音 |
|----------|-------|

学校

| | |
|----------|--------|
| 校長 | 浮田 佳昭 |
| 教頭 | 鈴木 俊彰 |
| 主幹 | 中村 隆太郎 |
| 浜松市教育委員会 | |
| 教育総務課 | 鈴木 陽子 |

学校運営協議会 年間計画

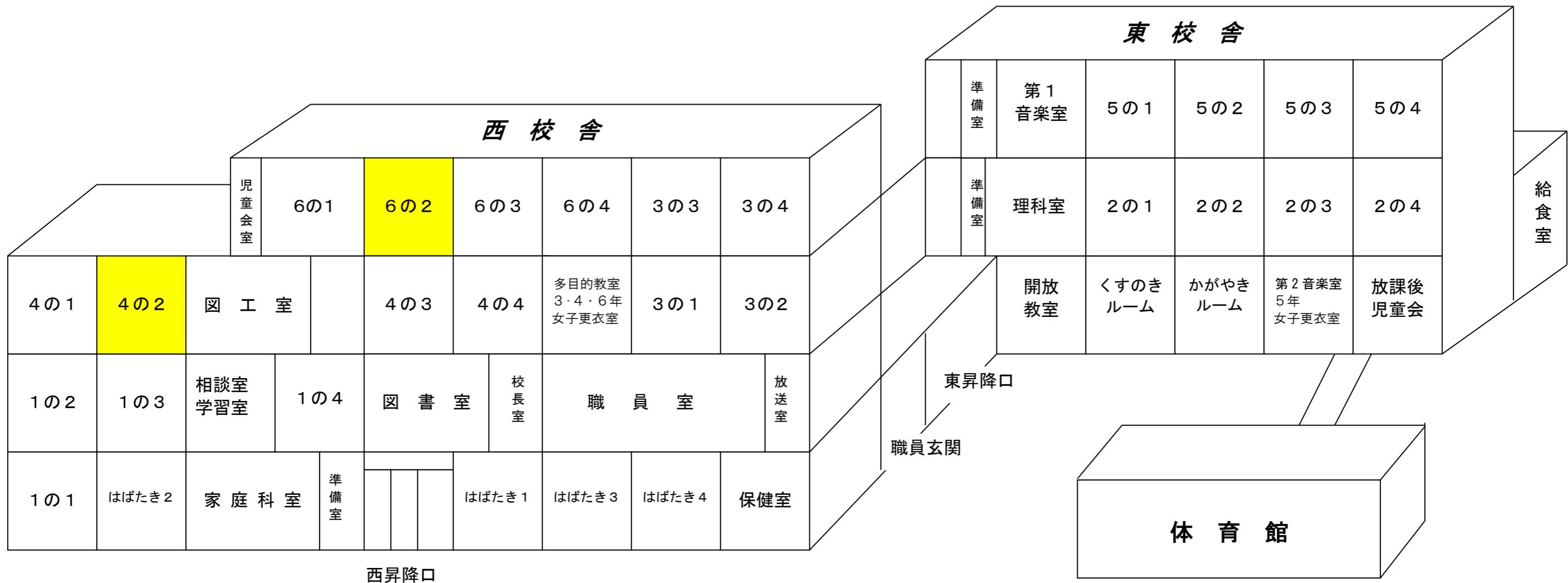
令和7年4月1日～令和8年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

| 回 | 日時 会場 | 主な内容 熟議のテーマ 等 | 備考 |
|---|--|---|--|
| 1 | 令和7年 5月15日 木曜日 13:30～15:00 会議室 | 熟議テーマ (1)令和7年度学校運営の基本方針について (2)本年度の学校運営協議会の目標および取組について (3)「いじめ防止等のための基本方針」について ・説明と共通理解 <input type="checkbox"/> 夢育やらまいかCS加算分についての意見書について | |
| 2 | 6月16日 月曜日 13:30～15:30 会議室 | 熟議テーマ (1)地域人材によるクラブ活動の取組について (2)学校支援活動の具体策について ・地域人材の活用 (3)学校評価アンケートの項目の検討について <input type="checkbox"/> 学校支援活動の近況 | |
| 3 | 10月23日 木曜日 13:00～15:00 会議室 | 熟議テーマ (1)令和の日本型学校教育について ・授業参観と子供たちに付けたい力 ・教師との座談会 (2)大規模改修に伴う教育活動について <input type="checkbox"/> 全国学力学習状況調査の結果について | ★学校運営協議会の自己評価表 ★委員の意見収集⇒学校への提出 締め切り日 11月7日(金) 教頭あて |
| 4 | 令和8年 2月17日 火曜日 13:30～15:00 会議室 | 熟議テーマ(予定) (1)学校関係者評価について 学校の自己評価(結果、分析・考察、改善方策等)の 説明 ⇒改善方策について熟議(この結果を学校関係者評価として提出)⇒協議会終了後、見直し⇒公表⇒次年度へ反映 (2)次年度学校運営の基本方針について 説明と承認 (3)学校運営協議会の自己評価 <input type="checkbox"/> 夢育やらまいかCS加算分の報告 | ★学校評価の自己評価、学校関係者評価は、教育総務課へ提出、学校HPに公表 ★学校運営協議会の自己評価は、学校運営協議会会长から教育総務課へ提出、学校HPに公表 ★夢育やらまいかCS加算分の報告は、意見書、決算書を教育総務課へ提出 |

令和7年度 教室配置図



【参観クラス】

○ 4年2組

教科：算数科

単元：面積

授業内容：一人一人が自分に合った資料を選択し、それを基に、複合図形の面積の求め方を考える。他者との交流を通して、面積の求め方の考えを広げたり、深めたりすることで、公式について理解を深める。

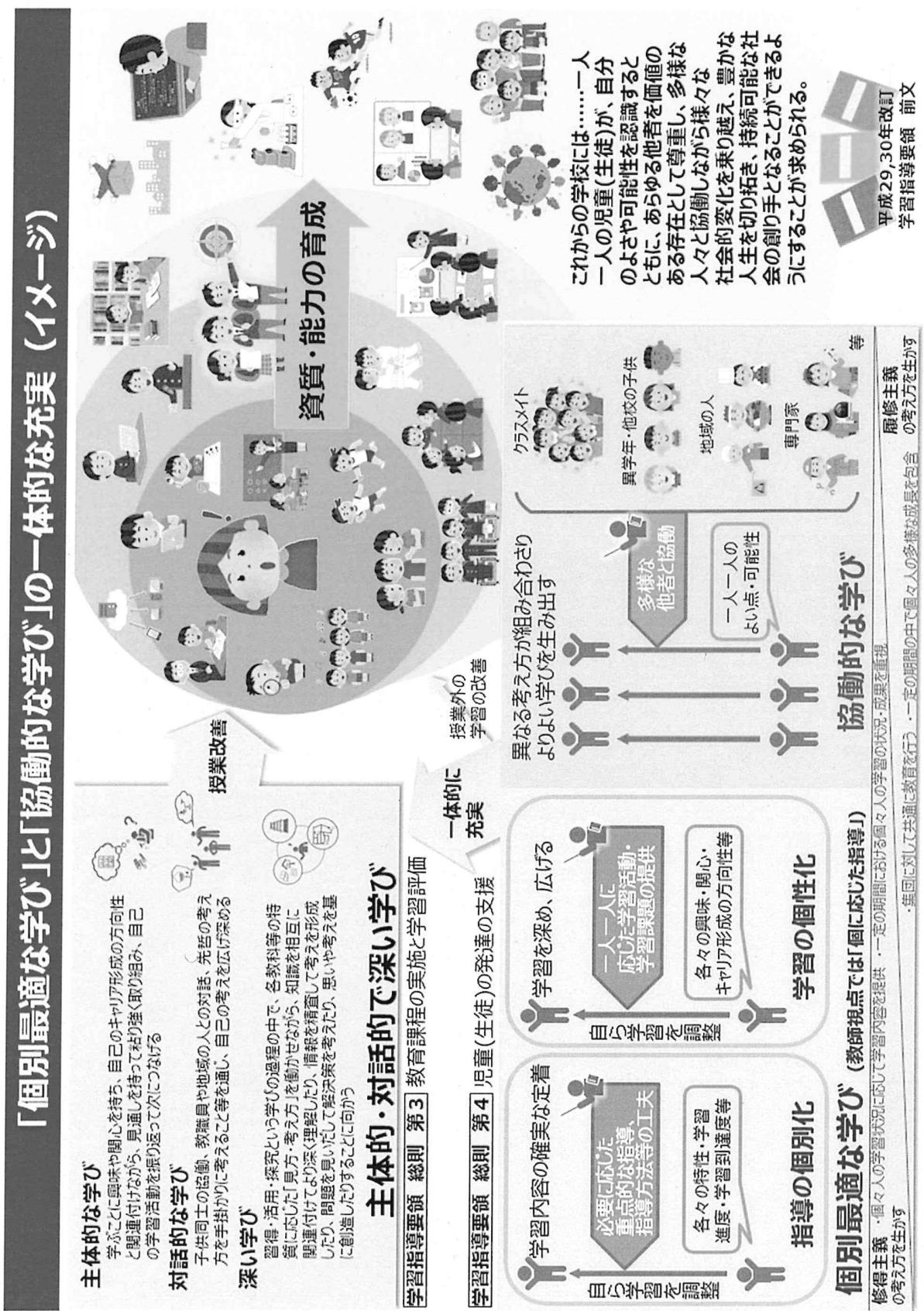
○ 6年2組

教科：国語科

単元：みんなで楽しく過ごすためには

授業内容：一人一人が、自分の考えをもち、理由や根拠を明確にして、話し合う活動を行う。各自の意見を基に、それらを組み合わせたり、ブラッシュアップさせたりしながら、最適解を見付ける。

(参考)「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実(イメージ)



1 研修構想図

学校教育目標

共に輝き 未来を拓く子

目指す学校像

大好き広沢 ~みんなの笑顔があふれる学校~

研究主題

子供が主役の授業づくりへの転換

～個別最適な学び・協働的な学びの一体化を通して～

主体的・対話的で深い学び

個別最適な学び

◎単元構想の工夫

- ・個別最適な学びを実践できる単元の発掘
- ・見通しを持たせるための単元計画の作成
- ・学習計画(かいけつシート)の活用

◎自分に合う課題や手立てを選択

◎振り返りの充実

- ・次の学習につなげる振り返り
- ・学習の看取りを評価につなげる

◎家庭学習との連携

協働的な学び

◎意図や視点を明確にした交流

- ・学習形態の工夫(ペア・グループなど)
 - ・ICTを使った交流
 - ・ミーティングボードの活用
 - ・交流時間の確保(反転学習)
- 多様な他者(クラスメイト、異学年、地域の人、専門家など)との交流

ICT 活用

キャリア教育で育む基礎的・汎用的能力

かかわる力

交流の充実

やりぬく力

行事ごとの目標の
明確化と振り返り

かいけつする力

(重点)
課題を設定し計画
を立てて実践

えがく力

なりたい自分

<温かな安心できる学級づくり>

・ピア・サポート

・エンカウンター

・聞く、話す力の育成

<発達支援教育の理念> ①個に応じた指導

②はばたき学級との交流

③授業のユニバーサルデザイン化(意図や視点の明確化、視覚化など)

令和7年10月6日

広沢小学校保護者様

浜松市教育委員会事務局
教育施設課長 鈴木 光則
浜松市立広沢小学校
校長 浮田 佳昭

広沢小学校の施設改修について（お知らせ）

日頃より学校教育活動に 御理解と御協力をいただきまして御礼申し上げます。

さて、浜松市の小中学校は全140校あり、1970年代に建築されたものが多く、2024年度末にはその約7割が築40年以上経過するなど、老朽化が進んでおります。

また、多様化する教育ニーズや、避難所利用や地域利用といった社会的ニーズへの対応も必要となっていることから、機能的かつ持続可能な施設を、効率的な予算の執行を図る中で、計画的に整備を行うことが求められています。

このような背景の中、「教育環境の向上」と「施設の老朽化対策」を一体的に進めるべく、昨年度「浜松市小中学校施設整備適正化方針」及び「浜松市小中学校施設整備計画」（※1）を作成し、この計画等に基づき、現在、老朽化が進む広沢小学校の改修に向けた計画を進めております。

については、改修範囲と工事スケジュールが大枠固まりましたので、この度、事業概要をお知らせいたします。（裏面をご覧ください）

工事着手は令和8年11月頃より仮設校舎建設を予定しておりますが、本体工事は令和9年6月頃を予定しております。地域住民のみなさまに向けた工事説明会を本体工事着手前に開催いたします。開催日等につきましては、改めて周知させていただきます。

また、現在、実施設計段階として詳細な設計を進めているところでございますが、設計検討の中で、事業内容やスケジュールに変更が生じる場合もあります。その場合も改めてお知らせいたします。

通われる児童の環境整備に向けての工事となります。工期は長きにわたります。工事期間中は、児童の安全と教育課程への配慮、騒音・振動の抑制、交通安全等、細心の注意を払い、万全を期す所存でございます。

何卒、皆様の御理解御協力をいただきますようお願い申し上げます。

※1：浜松市ホームページに掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。

【お問い合わせ】

浜松市学校教育部教育施設課

担当 鈴木 裕人

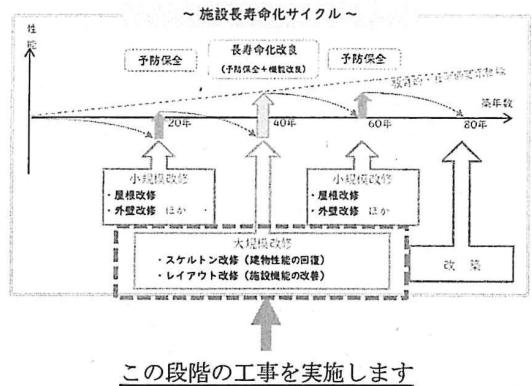
T E L 0 5 3 - 4 5 7 - 2 4 0 3

【事業概要】浜松市立広沢小学校大規模改修工事

1 浜松市の学校施設整備の基本的な考え方

浜松市では予防保全と機能改良を基本とした「施設長寿命化サイクル」により学校施設の目標使用年数を80年としています。(右図参照)

新しい時代に対応した、高機能で安全・安心な教育環境の構築、老朽化した施設の効率的・効果的な再生・活用、その他、地域利用の促進や激甚化する災害などの多様な社会的課題に一体的に対応した学校施設整備を進めていきます。

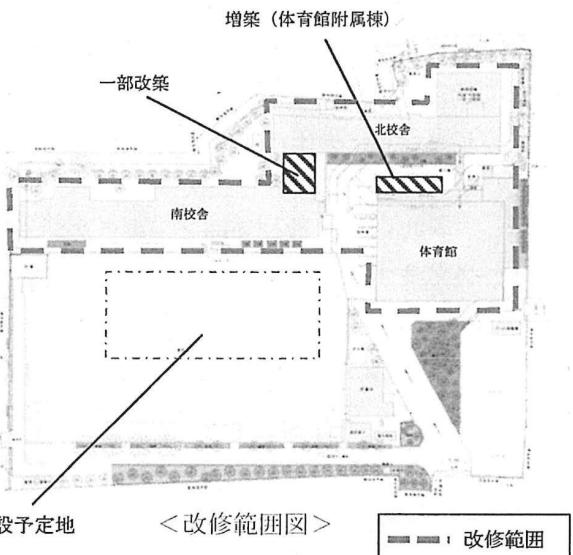


2 事業經緯

広沢小学校は北校舎が築58年、南校舎西側が築61年、東側が築50年、体育館が築48年経過し老朽化が進行しています。今回は、上記「1」に示す図の「大規模改修」を行い、施設の長寿命化と機能の改善を行います。

3 主な工事内容

- 今 の 北・南校舎及び体育館について建物の骨組みだけを残して、内外装・設備などを一新リニューアルするスケルトン改修を実施します。
 - 校舎内にエレベーターを設置するとともに、校舎の一部を改築し、施設のバリアフリー化を行います。
 - 工事は3期に分けて実施し、校舎の改修期間は仮設校舎（グラウンドに設定）を代替利用します。



4 事業スケジュール

工事は、令和8年11月頃の仮設校舎建設工事から始まり、令和12年度末完了となる見込みです。